

2020年(令和2年)

5月14日木曜日

新型コロナウイルスの感染防止のため、和歌山県橋本市の紀和病院で13日、入院患者と家族がインターネット通話「スカイプ」を使ってタブレット端末越しに面会するテストが行われた。20日から本格運用を始める。

同病院では4月16日から患者との面会を禁止。患者の家族から「会えない」と不安が募る」との声が届き、オンラインでの面会を発案した。病院の別館1階の個室で、奈良県五條市の女性(54)が、病院から借りた端

末に映る母親(76)に「ご飯食べてるか」などと語りかけると、母親が手を振つて応じていた。

母親は11日に手術を受けたばかりで、女性は「本当に付き添いたかったけど、会えなくて心配だった。元気そうな顔を見て安心した」と話していた。

新型コロナウイルス対策で直接の面会を禁止している医療法人南労会紀和病院(橋本市)は、入院患者や家族らが専用タブレットを通して会話できる「タブレット面会」を導入し、20日から本格運用を始める。

インターネット電話を活用し、専用タブレットで相手の顔を見ながら会話できるようにした。

女性は「11日に手術した母とは退院するまで会えないと喜んだ。院内は新型コロナウイルス対策として4月16日から直接の面会を禁止している。13日には、入院中の母親が、入院患者の家族らから

家族とオンライン面会 和歌山 病院タブレットで



端末を通じて、入院中の母親と会話する
女性(和歌山県橋本市の紀和病院で)

令和2年(2020)日刊27777号

5|14 [木]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2020
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
電話 (06)6633-1221(大代表)

「タブレット面会」導入 橋本・紀和病院 20日から運用



専用タブレットを通して会話できる紀和病院の「タブレット面会」=橋本市

